

「第10回 田園自然再生活動コンクール」

受賞団体の活動概要

＜農林水産大臣賞＞ — 総合的に優れた取組 —

とくていひえいりかつどうほうじん
特定非営利活動法人 ししづか しぜん れきし かい 宍塚の自然と歴史の会 （茨城県 土浦市）

- ・生物多様性の保全を目指し、25年間の長きにわたり、宍塚大池とそれを囲む約100haの里山において、地元農家と多数の住民（440人）が協力し、耕作放棄された谷津田（2ha）や畑（1.6ha）の復活、数十年放棄されてきた雑木林の植生・生態系管理、子供や一般市民を対象とした毎週土曜日の自然観察会（年間約3,500人参加）、米のオーナー制による農家支援など、自然再生から農村再生までをトータルに視野に入れた活動が総合的に優れています。



ふれあい農園



宍塚大池のハス刈り

＜農村振興局長賞＞ — 農業・農村振興、地域づくりに向けた取組 —

のじりはな さとせいびたい
野尻花の里済美隊 （岐阜県 下呂市）

- ・休耕田を活用して市民農園を開設し、地域住民との交流を図るとともに、環境教育の一環として、子供たちを対象に生きもの観察会を開催しています。また、「たい立て（虫追い行事）」等の伝統行事の継承や花の里づくり等の農村振興を図る取組が優れています。



トウモロコシの苗の植え付け



滝ヶ洞しょうぶ園

＜自然環境局長賞＞ － 自然生態系の保全・再生に向けた取組 －

もといずみちいき のうち みず かんきょうほぜんそしき
元泉地域 農地・水・環境保全組織 (山形県 河北町)

- ・地区の活性化を図るため農家と地域住民が協力し、耕作放棄地での花の植栽を行い、景観形成や生活環境保全等に取り組んでいます。また、生態系の保全を図るため環境に配慮した水路の整備や「めだかの学校」を開設し、子供たちを対象に生きもの観察会を開催する等、自然環境保全への取組が優れています。



めだかの学校



子どもたちとの稲刈り

＜子どもと生きもの賞＞ － 子供たちの環境教育への取組 －

みよし しりつやすだしょうがっこう
三次市立安田小学校 (広島県 三次市)

- ・ダルマガエルの生息地の保全・再生活動を推進するため、小学生がガイドとなり自然環境の大切さについて地域住民に PR することで、地域全体で環境保全に取り組んでいます。また、ダルマガエルの生息する水田での水稻の有機栽培や小学生を対象とした観察会を開催する等の環境教育の取組が優れています。



ダルマガエルの調査



自然ガイド

<地域資源活用賞> — 地域の環境資源を活用した取組—

のうじくみあいほうじんしらおうちょうしゅうらくえいのうくみあい
農事組合法人白王町集落営農組合（滋賀県 近江八幡市）

- ・「水郷を活かした農の里づくり」を基本理念として、地域全体で積極的に環境保全型農業や食育を通じた都市農村交流事業を展開しています。とりわけ、水郷地帯のシンボリック的存在である「権座」周辺の葎原保全や崩れた護岸石積みの復元、遊休農地（水田）の開墾など、地域にある環境資源の保全・活用への取組が優れています。



権座稲刈り



収穫の搬送

<パートナーシップ賞> — 多様な主体が連携した取組—

みさとかい
御射里の会（長野県 富士見町）

- ・住民が農村の自然と暮らしの再生をめざし、耕作放棄地や鳥獣被害の実態調査と調査結果に基づき耕作放棄地対策を行うことで、自然再生や地域の活性化につながっています。また、豊富な湧水を利用したビオトープの設置や周辺に遊歩道を整備し、子供を対等とした観察会を開催する等の活動が優れています。



ブルーベリー農園づくり



自然観察会

＜オーライ！ニッポン賞＞ — 都市と農村の共生・対流によって実施している取組 —

とくていひえいりかつどうほうじん うらとくらぶ
特定非営利活動法人 浦戸アイランド倶楽部（宮城県 塩竈市）

- ・東日本大震災で島民の半数が亡くなった中で、NPOや大学と協力して農地の再生に取り組んでいます。また、全国から研修生を募集し、地元農家との交流を進め、子供を対象とした食育を実践する等、島の農業を基軸に手つかずの自然や風景を離島の振興につなげる活動が優れています。



田植え



寒風沢島の仮設埠頭

平成 24 年度「田園自然再生活動コンクール」受賞団体位置図

